

# 2022年度 第2回 町田市デジタル化推進委員会 ～クラウド・ネイティブへのファーストステップ～

論点1：クラウド・ネイティブに向けた情報セキュリティのファーストステップとは

論点2：全ての手続を、エンドツーエンドでデジタル化するために、いま何ができるか

東京都町田市 デジタル戦略室

期待する成果：デジタル技術の徹底的活用による市民の利便性向上と市役所の生産性向上 ⇒ 新たな価値を創出するスマートシティの実現

大綱2：できることからDXをはじめ “e-まち” 実現プロジェクト  
- 来る手間、書く手間、二度手間をなくす -

大綱1：「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を踏まえて町田市が進める標準化・共通化の三本柱  
- システム更改をきっかけとして、三つの戦略を一体的に推進 -

## 戦略1：クラウドサービスへのシフト (所有からサービス利用へ)

### 国の取組

- ①国のセキュリティ評価（ISMAP）登録を受けた民間のクラウドサービスへシフト
- ②国や自治体で、クラウドサービスを共同利用することで、システムコストの削減につなげる
- ③「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に基づき、政府・自治体用の共通クラウドサービスであるガバメントクラウドを提供

### 町田市の取組

- ①全ての情報システムを、プライベートクラウドから、機敏性、迅速性、革新性の高いSaaS(\*1)やガバメントクラウドなどのクラウドサービスへシフトし、サブスクリプション(\*2)形式で利用
- ②行政ネットワークを、自前の専用回線から、5Gキャリア回線にシフト
- ③調達・構築・運用・管理の手間を削減
- ④全ての情報システムの文字コードを、国が標準とするIPAmjフォントへ移行
- ⑤カーボンニュートラルやカーボンネガティブを推進するクラウドサービスを優先的に導入
- ⑥政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）登録や、ISO27001（ISMS）などの情報セキュリティ認証を受けているクラウドサービスを採用

## 戦略2：20の基幹業務システムの標準化

### 国の取組

- ①各自治体でバラバラに導入しているシステムを標準化し、共同利用によりシステムコストを削減
- ②20の基幹業務システムについて、全国統一仕様（標準仕様）に準拠することを法律で義務化すると共に、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」で、方針を示す。2022年8月にすべての標準仕様が策定済
- ③ガバメントクラウドまたはSaaS上の標準仕様アプリとして提供し、2025年度末までに移行完了

### 町田市の取組

- ①標準仕様の提供時期やシステム更改時期を踏まえ、SaaSやガバメントクラウドで提供される標準仕様アプリへ2025年度末までに順次切り替える
- ②調達・構築・運用・管理・変更の手間を削減
- ③標準仕様に業務を適合させる

### 【20の基幹業務】

住民基本台帳、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、児童手当、生活保護、健康管理、就学、児童扶養手当、子ども・子育て支援、戸籍、戸籍の附票、印鑑登録

## 戦略3：行政手続のオンライン化 (20の基幹業務)

### 国の取組

- ①スマートフォンから、24時間いつでも、どこでも、簡単に手続できるようにし、市民サービスの向上を図る
- ②申請時点からデジタルでやりとりできるため、機械化、無人化を進め、行政コストの低減を図る
- ③「デジタル手続法」で、行政手続について、原則オンライン化の方針を示す
- ④子育てや介護に関する27手続について、マイナポータル申請画面のひな型を提供し、2022年度末までに基幹業務システムとの接続を要請

### 町田市の取組

- ①20の基幹業務の27手続をオンライン化
- ②オンライン行政手続ポータルサイトの導入
- ③公式HPの各制度・手続の説明ページの充実
- ④公的個人認証と決済機能がある、LINEなどの汎用オンライン行政手続サービスの導入
- ⑤複数のオンライン行政手続サービスから、申請情報を自動取得し、一元管理できるシンプルな仕組みを導入のうえ、必要に応じて20の基幹業務システムを改修
- ⑥法的制約が無く、申請件数の多い行政手続から優先的にオンライン化
- ⑦マイナンバーカードの普及促進
- ⑧オンライン行政手続に業務を適合させる

## 戦略4：町田市版DXの推進

### (1)オンライン行政サービスの推進

- ①行政手続のオンライン化（20の基幹業務以外）  
→戦略3：町田市の取組②から⑥を同様に実施
- ②オンラインによる専門相談（弁護士・税理士等）の実施
- ③デジタルミュージアム（考古・民俗・歴史資料）の導入

### (2)キャッシュレス決済の推進

- ①市税や保険料等の口座振替の申し込みができるWeb口座振替受付サービスの導入
- ②税金などの請求書払いの決済種別追加検討

### (3)AI・ロボティクス・タブレット等の活用

- ①介護認定業務のデジタル化（タブレットの導入等）
- ②土地評価システムの導入（タブレットの導入等）
- ③廃棄物収集サポートシステムの実証実験の実施
- ④市民病院における内視鏡手術支援ロボットの導入
- ⑤アバター、AI音声、メタバース等の先端技術の活用

### (4)オープンデータの推進

- ①EBPM推進のための自治体税務データ活用プロジェクトへの参画（東京大学との共創）
- ②将来空き家予測による所有者不明空き家の発生予防の実証実験の実施（民間事業者との共創）

### (5)スマートシティなどの施策の推進

- ①NTT東日本とのスマートシティ共同検討協定に基づく、道路占用許可申請のオンライン化に関する実証実験
- ②防災システム・市民向け防災ポータルサイトの導入
- ③デジタル町内会（デジタル回覧板・SNS）の実証実験
- ④学校徴収金管理システムの導入

(\*1)SaaS：自前でシステムを所有せず、インターネット経由で必要なサービスを利用する仕組み

(\*2)サブスクリプション：クラウドサービス、5Gキャリア通信回線などの、自前資産の購入・管理が不要な賃貸借契約

# 町田市のデジタル化のロードマップ

## 町田市の方針

### 町田市デジタル化総合戦略2022

**クラウド化** 戦略1  
クラウドサービスへのシフト  
(所有からサービス利用へ)

**標準化** 戦略2  
20の基幹業務の標準化

**オンライン化** 戦略3・4  
行政手続のオンライン化

## ロードマップ

これまで

### 単独利用

プライベートクラウド

標準的なパッケージシステム

<デジタルファースト 黎明期>  
エンドツーエンドのオンライン化を開始  
オンライン手続を開始

## クラウドネイティブへのファーストステップ

2023年度～2025年度

パブリッククラウド **IaaS**

ガバメントクラウド **IaaS**

標準準拠システム

標準的なパッケージシステム

<デジタルファースト 拡大期>  
エンドツーエンドのオンライン化を拡充  
オンライン手続を拡充

## 本格的なクラウドネイティブ時代へ

2026年度～

### 共同利用

**SaaS**

**クラウド化** ガバメントクラウド  
+

**標準化** 標準準拠システム

<デジタルファースト 成熟期>  
エンドツーエンドのオンライン化が完了  
すべての手続のオンライン化が完了

## クラウド化の現状認識

- ① 2050年までにCO2排出量をゼロにする「町田市ゼロカーボンシティ宣言」へ対応するため、自前のマシンルーム・データセンターを廃止
- ② 町田市のプライベートクラウド群の更改時期が2023年度と2024年度に到来
- ③ ガバメントクラウドを含むパブリッククラウドへシフトし、調達・構築・運用・管理の手間を削減
- ④ ガバメントクラウドは、パブリッククラウド上で提供
- ⑤ パブリッククラウドは、インターネット接続を前提としたサービス
- ⑥ 2023年度から、ガバメントクラウドの早期移行団体検証事業が開始

## 標準化の現状認識

- ① 20の基幹業務システムについて、全国统一仕様（標準仕様）に準拠することが法律で義務化され、2022年8月にすべての標準仕様が策定済
  - ② 標準仕様に業務を適合させる必要がある
  - ③ 調達・構築・運用・管理・変更の手間の削減が期待できる
  - ④ 標準準拠システムの提供時期は未定である
- 引き続きパッケージシステムをカスタマイズせずに利用し、標準準拠システムが提供され次第移行

## オンライン化の現状認識

- ① 現状の行政手続のオンライン化は、プロセスの一部のみのデジタル化がほとんどであり、アナログプロセスが残るためエンドツーエンドで完全自動化できるものが少ない
- ② オンライン手続数が少ない

## ファーストステップにおける課題

(1) 20の基幹業務システムをガバメントクラウドを含むパブリッククラウドへ移設し、安全に利用する必要がある

(2) 市民と職員にとってメリットの高いオンライン化を進めるとともに、オンライン化する行政サービスの領域を拡大する必要がある

# 論点 1 クラウド・ネイティブに向けた情報セキュリティのファーストステップとは

## 課題

20の基幹業務システムをガバメントクラウドを含むパブリッククラウドへ移設し、安全に利用する必要がある

## 論点

### クラウド・ネイティブに向けた情報セキュリティのファーストステップとは？

#### 現状

20の基幹業務システムについて、パブリッククラウド利用の技術標準が示されていない

#### 方策

**方策 1 :**  
町田市がパブリッククラウドを安全に使うためのセキュリティ要件を、国の情報セキュリティドキュメントを参照し、整理する

**方策 2 :**  
整理した要件に基づき情報セキュリティ関連規定を整備

\* 2023年度上半期までを目途に実施

#### 期待する成果

- (1) 「安価で高機能な」パブリッククラウドを安全に利用できるようにし、調達・構築・運用・管理の手間を削減する
- (2) 国のデジタル化の動きに素早く対応できるようにする

#### 国の情報セキュリティドキュメント

##### 国のクラウドサービス利用に関する情報セキュリティ要件

**<経済産業省・総務省・内閣官房> ISMAP管理基準**  
→クラウドサービスに特有のものとして、クラウドサービス事業者が特に考慮すべき管理策については、「管理策番号.P」と表記している

**<デジタル庁> 地方公共団体のガバメントクラウドの利用に関する基準**  
→国がガバメントクラウド及びガバメントクラウド接続サービスを調達する際の仕様を記載している

**<総務省> 地方公共団体の情報システムのクラウド利用等に関する情報セキュリティポリシーガイドライン改定案**  
→地方公共団体がマイナンバー系の情報システムをクラウドサービス利用する際の情報セキュリティ対策を記載

##### 総務省ガイドライン

**地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和4年3月版)**  
→最新のガイドラインであるが、クラウド利用に関する記載はない

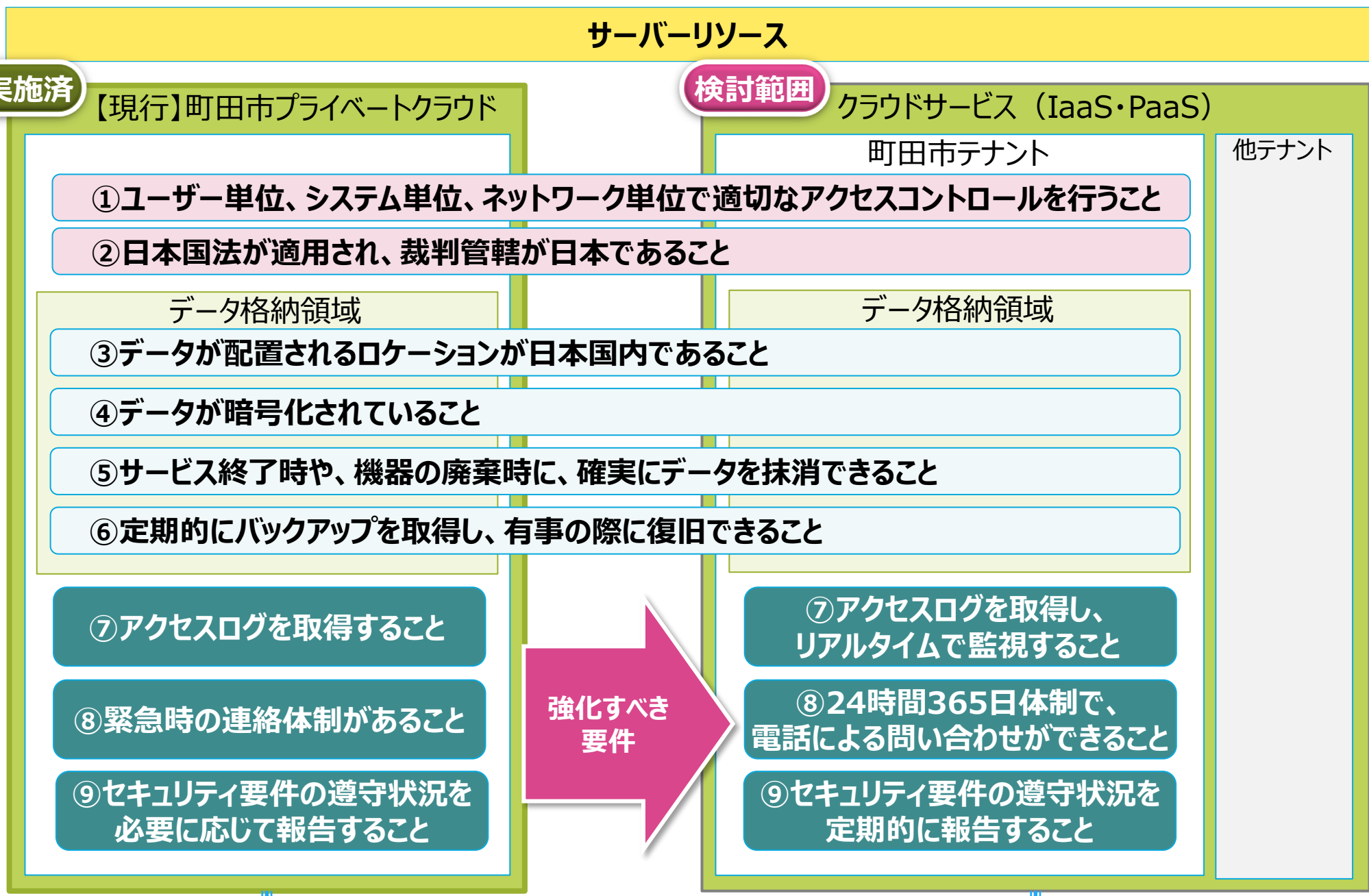
## 町田市の情報セキュリティ関連規定

町田市情報セキュリティポリシー（基本方針・対策基準）、町田市コンピュータシステム等の管理運営に関する規程、磁気データの管理と取扱いに関する要領、磁気データ利用基準、特定個人情報保護評価書（PIA）、町田市CSIRT設置要領、情報セキュリティ確保・個人情報保護のための特記仕様書、町田市端末装置取扱い要領、町田市コンピュータセンター管理運営要領

## 1 クラウドサービス利用に向けた情報セキュリティ要件の整理

実施済

検討範囲

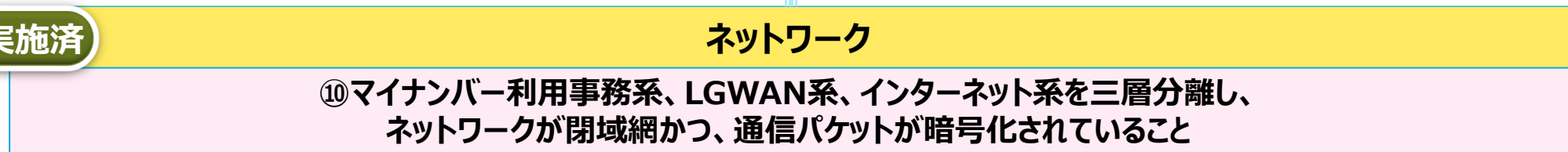


凡例  
セキュリティ要件  
アクセス回線

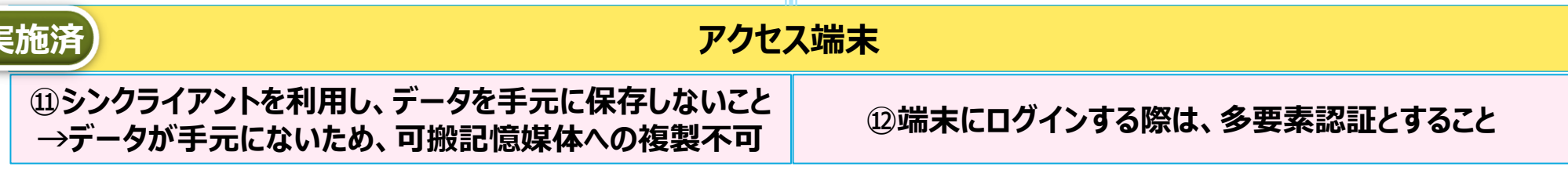
## 2 情報セキュリティ関連規定の整備に向けたポイント

- (1) 町田市のプライベートクラウドの情報セキュリティ要件と、国の情報セキュリティドキュメントのセキュリティ要件を比較したところ、**両者に基本的な差はない**
- (2) クラウドサービスの利用に向け、より強化される点
  - a. アクセスログのリアルタイム監視
  - b. 24時間365日体制での電話での問い合わせが可能
  - c. セキュリティ要件の遵守状況を定期的に確認
- (3) その他考慮すべき事項
  - a. インシデント発生時における町田市と受注者の対応や責任分界の明確化
  - b. 受注者に対する管理監督、監査の実効性をどのように担保すべきか
  - c. USBメモリ等、可搬記憶媒体の適切な管理運用
  - d. 特定個人情報保護評価書（PIA）の第三者点検について、専門性の高い情報セキュリティ監査事業者へ委託

実施済



実施済



総務省ガイドラインが改定され次第、随時情報セキュリティ要件を見直す

# 論点1 クラウド・ネイティブに向けた情報セキュリティのファーストステップとは（方策2）

## 整理した要件に基づき情報セキュリティ関連規定を整備

- (1) 町田市プライベートクラウドの情報セキュリティ要件に、国のクラウドサービス利用に関するセキュリティ要件を加え、情報セキュリティ関連規定を整備する
- (2) 情報セキュリティポリシーを総務省ガイドラインベースで標準化する
- (3) 乱立している情報セキュリティ関連規定を整理統合し、シンプルでわかりやすい体系とする

### (1) クラウドサービス利用時の情報セキュリティ要件を追加

### (2) 情報セキュリティポリシーの標準化

現行の情報セキュリティ関連規定	総務省ガイドライン		標準化案
	含まれている（※1）	上乗せする（※2）	
町田市情報セキュリティ基本方針	☑	—	・総務省ガイドラインを全面適用
町田市情報セキュリティ対策基準	☑	☑	・総務省ガイドラインを全面適用 ・現行規定の一部を上乗せ

※1：総務省ガイドラインに現行規定内容の全部または一部が含まれている。  
 ※2：総務省ガイドラインでは規定されておらず、対策基準に上乗せして規定する事項がある。

### (3) 情報セキュリティ関連規定の整理統合

現行の情報セキュリティ関連規定	総務省ガイドライン		整理・統合案
	含まれている（※1）	上乗せする（※2）	
特記仕様書、調達仕様書のセキュリティ要件	☑	—	・情報セキュリティ対策基準の改定内容を反映し存続
特定個人情報保護評価書（PIA）	—	—	・存続
町田市コンピュータシステム等の管理運営に関する規程	☑	☑	・情報セキュリティ関連規定は統合 + 現行規定の一部を上乗せ ・情報セキュリティ関連規定以外は存続
町田市コンピュータセンター管理運営要領	☑	☑	・情報セキュリティ対策基準に統合 + 現行規定の一部を上乗せ
町田市端末装置取扱要領	☑	☑	〃
町田市CSIRT設置要領	☑	☑	〃
磁気データの管理と取扱に関する要領	☑	—	・情報セキュリティ対策基準に統合
磁気データ利用基準	☑	—	〃
町田市インターネットの利用に関する要領	☑	—	〃

# 論点2 全ての手続を、エンドツーエンドでデジタル化するために、いま何ができるか

## 課題

市民と職員にとってメリットの高いオンライン化を進めるとともに、オンライン化する行政サービスの領域を拡大する必要がある

## 論点

### 全ての手続を、エンドツーエンドでデジタル化するために、いま何ができるか？

**1 町田市のオンライン行政手続の現状**  
 公的個人認証及びキャッシュレス決済機能があるオンライン行政手続プラットフォーム（LINE・グラファー）を導入  
 ワンスオンリーの取組として、転出届の記載内容を読み取る、「書かない窓口」を導入済  
 ⇒個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結するデジタルファーストになっていない

- ① 申請内容が正しいか、職員が手動でシステムと照合
- ② 職員が申請内容の不明点を申請者に電話やメールで確認
- ③ オンライン手続由来と窓口由来のアナログ処理がダブルで発生

**2 エンドツーエンドのデジタル化に向けた町田市の取組**

**(1) デジタルファーストの推進**

- ① 法的制約がなく、申請件数の多い行政手続から、優先的にLINE・グラファー・マイナポータルでオンライン化
- ② 市民の属性情報に応じたプッシュ型の通知の実施
- ③ マイナンバーカードの普及促進
- ④ AI・アバター・メタバース等の最新技術を活用した行政サービス改革に向けた実証実験

**(2) コネクテッド・ワンストップの推進**

- ① 民間事業者とのコラボレーションによるオンライン行政手続の拡充

自治体の努力だけでは、行政手続のエンドツーエンドのデジタル化は実現しない

※ 取組の詳細については、スライド12・13「論点2 参考資料」に記載しています

**3 近いうちに実現すること**

- ① マイナンバーカード機能のスマートフォン搭載
- ② マイナポータルを活用した「引越しワンストップサービス」の開始
- ③ GovTech東京の設立

**4 エンドツーエンドのデジタル化に向けて国に求めること**

**(1) 情報システム環境のシンプル化とコスト低減**

- ① 自治体ネットワーク強靱化モデルにおける「三層の対策」をシンプルにし、ガバメントクラウド・情報提供NWS・住基ネット等のネットワーク回線・インターネット回線を情報セキュリティを確保したうえで統合
- ② ガバメントクラウドの利用を促進し、無償または安価で提供

**(2) 情報システムサービスの標準化・統合化による市民の利便性向上とコスト低減**

- ① 標準準拠システムをガバメントクラウド上でワンシステムとして無償提供
- ② 20の基幹業務システムに係る内部連携・外部連携仕様の標準化
- ③ オンライン行政手続プラットフォームの標準化・機能強化
- ④ ①②③を統合し、オンライン行政手続をエンドツーエンドで完全自動化

**(3) 制度の見直し**

- ① アナログ規制の撤廃
- ② 各種免許状等の公的証明書のデジタル化やマイナンバーカードへの一体化

**5 エンドツーエンドのデジタル化に向けて事業者を求めること**

- ① 標準準拠システムの早期提供
- ② 公的個人認証サービスの民間利用促進

全国1700の自治体で、職員とシステムベンダーが情報システムを「血と汗と涙」で構築・運用する時代から、全ての手続が申請者の操作だけで完結する全国共通のクラウドサービスを提供する時代へ

真のDXへ

# 參考資料



## クラウドサービスを利用する際のセキュリティ要件を整理するうえで参照した国のクラウドサービス利用に関するセキュリティ要件

項目番号	分類	町田市のセキュリティ要件	国のセキュリティ要件
①	サーバーリソース	ユーザー単位、システム単位で適切なアクセスコントロールを行うこと	・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達①
②	サーバーリソース	日本国法が適用され、裁判管轄が日本であること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達⑥
③	データ	データが配置されるロケーションが日本国内であること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達⑤
④	データ	データ記憶領域が暗号化されていること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達① ・自治体セキュリティポリシー改定方針 6.技術的セキュリティ
⑤	データ	サービス終了時や、機器の廃棄時に、確実にデータを抹消できること	・ISMAP管理基準 11.2.7.4.PB ・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達④ ・自治体セキュリティポリシー改定方針 4.物理的セキュリティ
⑥	データ	定期的にバックアップを取得し、有事の際に復旧できること	・ISMAP管理基準 9.5.1.3.P/13.1.3.10.P ・ガバメントクラウド調達仕様 3.1 ガバメントクラウドの調達①
⑦	監視	アクセスログを取得し、リアルタイムで監視すること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.2 ガバメントクラウド接続サービスの調達
⑧	体制	24時間365日体制で、電話による問い合わせができること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.2 ガバメントクラウド接続サービスの調達
⑨	報告	セキュリティ要件の遵守状況を定期的に報告すること	・自治体セキュリティポリシー改定方針 9. 評価・見直し
⑩	ネットワーク	マイナンバー利用事務系、LGWAN系、インターネット系を三層分離し、ネットワークが閉域網かつ、通信パケットが暗号化されていること	・ガバメントクラウド調達仕様 3.2 ガバメントクラウド接続サービスの調達 ・自治体セキュリティポリシー改定方針 3.情報システム全体の強靱性の向上
⑪	アクセス端末	シンクライアントを利用し、データを手元に保存しないこと	(町田市独自要件)
⑫	アクセス端末	端末にログインする際は、多要素認証とすること	・自治体セキュリティポリシー改定方針 3.情報システム全体の強靱性の向上

※色付きの項目（⑥～⑧）は、クラウドサービスの利用に向け、より強化される事項

現行規定を整理統合するうえで、総務省ガイドラインでは規定されておらず、対策基準に上乗せして規定する主な事項 (1 / 2)

現行の規定	対策基準に上乗せする主な事項	上乗せ先の項目
町田市情報セキュリティ対策基準	・情報化推進本部、セキュリティポリシー部会の設置	組織体制
	・情報資産管理台帳の作成	情報資産の分類と管理
	・紙媒体、音声（会話等）の管理策	情報資産の分類と管理
	・町田市情報化推進本部による適用除外承認	その他
	・セキュリティ対策関連文書の非公開 （実施手順や個別システムの具体的なセキュリティ対策方法など）	その他
町田市コンピュータシステム等の管理運営に関する規程	・端末装置の新規配置・変更時の具体的手続き（承認者等の定め）	運用
	・外部委託時の具体的手続き（承認者等の定め）	業務委託と外部サービスの利用
	・システム利用状況調査権限と是正命令（情報システム部門から業務所管部門へ）	運用
	・システム停止時や災害発生時の対応	運用

現行規定を整理統合するうえで、総務省ガイドラインでは規定されておらず、対策基準に上乗せして規定する主な事項 (2 / 2)

現行の規定	対策基準に上乗せする主な事項	上乗せ先の項目
町田市コンピュータセンター 管理運営要領	・コンピュータセンター内のシステム操作に係る依頼・報告手順等	運用
	・コンピュータセンターへの入室制限	運用
	・コンピュータセンターの入退室記録の管理	運用
	・システム稼働時間の延長申請の手続き	運用
町田市端末装置取扱要領	・パスワードの定期的な変更	人的セキュリティ
	・端末装置取扱者の指名と情報システム部門への報告	運用
町田市CSIRT設置要領	・CSIRTの構成と各役割の詳細	組織体制
	・CSIRTの対象インシデント	組織体制

# 論点2 参考資料

## デジタル化に向けた町田市の主な取組 (1 / 2)

### 行政手続のオンライン化に向けた主な取組

オンライン行政手続ポータルサイトの導入	
スマートフォンアプリ向けポータルサイト導入： LINEリッチメニュー	2022年度導入
Webブラウザ用のポータルサイト導入： 町田市公式HP	2022年度導入
メタバース上でのポータルサイト導入	2022年度導入
公的個人認証及び決済機能がある、オンライン行政手続プラットフォームの導入	
スマートフォン向け汎用行政手続サービス： LINE	2022年度導入
PC・スマートフォン向け汎用行政手続サービス： グラファア	2022年度導入
申請管理システムの導入	2022年度導入予定
オンライン行政サービスの推進	
SMSを活用した新型コロナウイルス感染症への対応	導入済
HER-SYSを活用した新型コロナウイルス感染症患者への健康観察の実施	導入済
オンラインによる専門相談（弁護士・税理士等）の実施	2022年度開始
町田デジタルミュージアム（考古・民俗・歴史資料）の導入	2022年度全面公開
Webアンケート調査システム「ちょこっとアンケート」の導入	2022年度開始
図書館 電子書籍サービスの導入	2022年度開始
粗大ごみオンライン受付システムの更改	2022年度更改
引越しワンストップサービスの導入	2022年度開始予定
キャッシュレス決済の推進	
窓口払いにおけるキャッシュレス決済の導入（市民課・市民センター・連絡所） （決済サービス14種対応）	導入済
請求書払いにおけるキャッシュレス決済の導入（スマホアプリでは決済サービス5種、11科目対応）	導入済・拡充
Web口座振替受付サービスの導入（14科目対応）	2022年度導入

### LINEなどを活用した主なオンライン行政手続等

手続名	プラットフォーム
住民票の請求	LINE
課税・非課税証明書の請求	LINE
新型コロナワクチン接種券発行申請（転入者・再発行・送付先変更）	LINE
職員採用試験申込	LINE
学校給食利用申込	LINE・グラファア
学校教材等利用申込	LINE・グラファア
入学希望校調査（小学校・中学校）	グラファア
中学生発達検査の日程予約	LINE
保健師による妊婦オンライン面談（しっかりサポート面接）予約	LINE
乳幼児健康診断予約日変更	LINE
保育施設位置情報検索	LINE
特定建設作業実施届	グラファア
中高層等紛争予防条例に基づく標識設置届	グラファア
イベント参加者募集（グルメウォーキング等）	LINE
イベント協力店舗募集（「まちだ謎解きゲーム2」等）	グラファア
20の基幹業務における26手続及び罹災証明（※2022年度中に全て公開予定）	マイナポータル
<b>合計手続数（2023年2月時点）</b> ※アンケート等含む	<b>70手続</b>

# 論点2 参考資料

## デジタル化に向けた町田市の主な取組 (2 / 2)

### 新たなデジタル技術の活用に係る主な取組 (2022年度の取組)

新たに導入した主な情報システム	
学童保育に関する入退室・日報管理アプリの導入	2022年度導入
予防接種情報提供サービス「わくわくワクチンプラス」の導入	2022年度導入
車両管理システムの導入	2022年度導入
保育園等からの留守番電話音声を文字データ化しメール送信するサービスの導入	2022年度導入
介護認定業務のデジタル化 (タブレット導入等)	2022年度導入
コンビニ交付の帳票追加 (戸籍附表、住民票記載事項証明等)	2022年度追加
町田市所管施設のエネルギー使用量管理のデジタル化	2022年度テスト導入
防災システムの刷新・市民向け防災ポータルサイト導入・発災時のモバイル端末の活用	2023年度導入予定
学校徴収金管理システムの導入	2023年度導入予定
土地評価システムの導入 (タブレット導入等)	2023年度導入予定
デジタル町内会 (デジタル回覧板・SNS) の実証実験	実証実験中
NTT東日本とのスマートシティ共同検討協定に基づく道路占用許可申請のオンライン化	実証実験中

オープンデータ推進の取組	
オープンデータの拡充	公開ファイル件数:807 4月～9月累計DL件数:142,112 (2022年9月末現在)
EBPM推進のための自治体税務データ活用プロジェクトへの参画 (東京大学との共創)	実施中
将来空き家予測による所有者不明空き家の発生予防の実証実験 (民間事業者との共創)	実証実験中
AI・ロボティクス等を活用した取組	
RPA・AI-OCRの活用	RPA46件/AI-OCR9件
書く手間をなくす窓口申請支援システムの導入 (タブレットの導入等)	導入済
市民病院における内視鏡手術支援ロボットの導入	2022年度導入
介護認定AIサービスの導入	2022年度導入
アバター、AI、メタバース等の先端技術の活用	※詳細はスライド14～

# 町田市のデジタル化の紹介 1

No.	日付	内容
1	2021年10月15日	東京都主催「東京都・区市町村CIOフォーラム第4回座談会」で宮坂副知事（都CIO）に「クラウドネイティブ グランドデザイン～行政システムをモダナイズする方法～」を説明 <座談会の模様は次のURLを参照> <a href="https://note.com/tokyo_cio_forum/n/n4373013597d2">（Part1）https://note.com/tokyo_cio_forum/n/n4373013597d2</a> <a href="https://note.com/tokyo_cio_forum/n/na69101d79c67">（Part2）https://note.com/tokyo_cio_forum/n/na69101d79c67</a>
2	2021年11月18日	日経BP主催「政令市・中核市CIOフォーラムin神戸」で「クラウドネイティブ グランドデザイン～行政システムをモダナイズする方法～」について講演
3	2022年 2月 1日	東京都主催「東京都・区市町村CIOフォーラム」で「デスクトップ・OA基盤の共同利用の検討」について提案
4	2022年 2月 1日	月刊J-LIS2月号に「クラウドネイティブ・グランドデザイン～全ての情報システムを“今風な仕組み”へ刷新する～」を寄稿
5	2022年 3月 1日	月刊地方財務3月号に「クラウドネイティブ・グランドデザイン（上）—全ての情報システムを“今風な仕組み”へ刷新するための政策とリソース」を寄稿
6	2022年 3月 4日	早稲田大学マニフェスト研究所主催「行政×民間で未来はどう変わる？DX事例に学ぶ自治体経営」セミナーで「クラウドネイティブ・グランドデザイン～全ての情報システムを“今風な仕組み”へ刷新する方法～」について講演
7	2022年 4月 1日	日経コンピューター1065号に2021年11月の日経BP主催「政令市・中核市CIOフォーラムin神戸」の概要が掲載
8	2022年 4月 1日	月刊地方財務4月号に「クラウドネイティブ・グランドデザイン（下）—全ての情報システムを“今風な仕組み”へ刷新するためのクラウドサービス」を寄稿
9	2022年 4月18日	AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画第1弾「就活生に告ぐ！町田市の試験が受けやすい理由！2022年度上半期試験」を公開 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=DZzSQUYB10c">https://www.youtube.com/watch?v=DZzSQUYB10c</a>
10	2022年 5月13日	AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画第2弾「カワセミールがメタバースで語る、町田のスゴさ！」を公開 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=cM5yIzZHvU8">https://www.youtube.com/watch?v=cM5yIzZHvU8</a>
11	2022年 6月27日	メタバース・LINE・公式ホームページを活用したオンライン行政手続ポータルサイト「まちドア」を公開 （メタバース） <a href="https://door.ntt/B7Qmp9r/machidoor">https://door.ntt/B7Qmp9r/machidoor</a> （LINE） <a href="https://page.line.me/?accountId=tokyo_machida">https://page.line.me/?accountId=tokyo_machida</a> （HP） <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/shinsei/machidoor.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/shinsei/machidoor.html</a>
12	2022年 6月29日	2022年度第1回町田市デジタル化推進委員会を開催し、「町田市デジタル化総合戦略2021の改定の方向性について」をテーマとし、システムのクラウドサービス化およびオンライン行政手続の推進について提言を受ける （会議紹介） <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/unei/jouhouka/mdpm.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/unei/jouhouka/mdpm.html</a> （会議模様） <a href="https://www.youtube.com/watch?v=AcN5yCGHAIM">https://www.youtube.com/watch?v=AcN5yCGHAIM</a>

## 町田市のデジタル化の紹介 2

No.	日付	内容
13	2022年 7月 1日	AI・アバター・メタバーズを活用した取組が東京都主催の「Tokyo区市町村DX賞」で実装部門1位を受賞するとともに、内閣官房主催の「夏のDigi田甲子園」で東京都代表に選出 <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/jouhouka/tokyokushicyousonDXsyoun.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/jouhouka/tokyokushicyousonDXsyoun.html</a>
14	2022年 7月21日	夏のDigi田甲子園PR動画「メタバーズを活用した取組を、歌って、踊って、“秒”で見せます！」を公開 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=CtXshBSSjMw">https://www.youtube.com/watch?v=CtXshBSSjMw</a>
15	2022年 7月22日	東京都主催「東京都・区市町村CIOフォーラム第25回座談会」で宮坂副知事（都CIO）にAI・アバター・メタバーズなどの最新技術による取組を説明
16	2022年 8月23日	AI音声読み上げソフト「VOICEPEAK」の活用事例として当市のAI・アバター・メタバーズを活用した取組が紹介される <a href="https://www.ah-soft.com/voice/6nare/case/case/111.html">https://www.ah-soft.com/voice/6nare/case/case/111.html</a>
17	2022年 9月 1日	AI音声・アバター・メタバーズを活用した職員採用PR動画第3弾「就活生に告ぐ！町田市の試験が受けやす理由！2022年度下半期試験」を公開 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=DZzSQUYB10c">https://www.youtube.com/watch?v=DZzSQUYB10c</a>
18	2022年 9月 1日	デジタル化PR動画第1弾「トレンド技術で“お役所仕事”を変える～AI・アバター・メタバーズなどの最新技術による行政DX～」を公開 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=UFaBPXPY_w">https://www.youtube.com/watch?v=UFaBPXPY_w</a>
19	2022年 9月 9日	東京都のDX政策「GovTech東京」設立構想発表会に出席し、宮坂副知事（都CIO）と意見交換を実施 <a href="https://note.com/kouzoukaikaku/n/n491dc390e15a">https://note.com/kouzoukaikaku/n/n491dc390e15a</a>
20	2022年10月 1日	町田市デジタル化総合戦略2022を公開 <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/jouhouka/digital-senryaku.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyousei/keiei/jouhouka/digital-senryaku.html</a>
21	2022年10月 7日	早稲田大学マニフェスト研究会主催「第17回マニフェスト大賞」でコミュニケーション戦略賞優秀賞を受賞 <a href="http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/2022100500011/">http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/2022100500011/</a>
22	2022年10月13日	AI音声・アバター・メタバーズを活用した職員採用PR動画第4弾「カワセミールがメタバーズで語る、町田のスゴさ！2022年10月更新版」を公開 <a href="http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/2022100500011/">http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/docs/2022100500011/</a>
23	2022年11月13日	メタバーズ上に市民参加型事業評価の視聴会場を設置し、大原学園が生徒の生徒に参加してもらうとともに、インタビューを行った
24	2022年12月 2日	デジタル化PR動画第2弾「デジタル化総合戦略2022ってナニ？～AI・アバター・メタバーズ・最新技術でDX～」を公開 <a href="https://note.com/kouzoukaikaku/n/n491dc390e15a">https://note.com/kouzoukaikaku/n/n491dc390e15a</a>
25	2022年12月 5日	東京デジタルアカデミー区市町村職員向け研修会にて、「トレンド技術でプロモーションをDX～AI・アバター・メタバーズの活用～」研修講師を担当 <a href="https://youtu.be/6dEgUh7UxdM">https://youtu.be/6dEgUh7UxdM</a>

# 町田市のデジタル化の事例を実際に体験してみよう！

## デジタル化PR動画

「トレンド技術で“お役所仕事”を変える～AI・アバター・メタバースなどの最新技術による行政DX～」



YouTube

## AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画

第2弾「カワセミールがメタバースで語る、町田のすごさ！」



YouTube

## メタバース・LINE・公式ホームページを活用したオンライン行政手続ポータルサイト「まちドア」



LINE



メタバース



市公式HP

## AI音声・アバター・メタバースを活用した職員採用PR動画

第3弾「就活生に告ぐ！町田市の試験が受けやすい理由！2022年度下半期試験」



YouTube

## 町田市デジタル化推進委員会



市公式HP



YouTube